

## デイリー・ジーザス・ニュース #299

木曜日...指導と逮捕の日：

「大祭司の祈り」を捧げる

イエスは三位一体と互いの一致を祈る

ヨハネ17.20-26

=====

20わたしの祈りは彼らのためだけのものではない。

」また、彼らの言葉によってわたしを信じる人々のためにも祈ります。21 父よ、あなたがわたしの中におられ、わたしがあなたの中にいるように、彼らもみな一つになってください。彼らもわたしたちの中にいて、あなたがわたしをお遣わしになったことを、世が信じるようにしてください。

22あなたが私に下さった栄光を、私は彼らに永遠に与えました。それは、私たちが一つであるように、彼らも一つとなるためです。23私が彼らの中におり、あなたが私の中におられます。こうして、彼らは永遠に完全な一致に至り、あなたが私を遣わして、私を愛されたように、彼らをも愛されたことを、世が知るようになるためです。

24 」父よ、あなたが私に永遠の命を与えてくださった人々が、私のいる所に共にいて、私の栄光をずっと見続けることを願います。それは、あなたが世界の創造の前から私を愛してくださったために、私に永遠の命を与えてくださった栄光です。

25 」正しい父よ、たとえ世があなたを知らないとしても、私はあなたを知っています。彼らはあなたが私をお遣わしになったことを知っています。26 わたしは、あなたの御名を彼らに知らせました。また、これからも知らせ続けます。それは、あなたがわたしのために持っておられる愛が彼らのうちに宿り、わたし自身も彼らのうちに宿るためです。 」

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = <sup>MT</sup>、マーク = <sup>M</sup>、ルカ = <sup>L</sup>、ヨハネ = <sup>J</sup>、使徒行伝 = <sup>A</sup>。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書を識別します。さらに、**赤いイタリック体はイエスの言葉を示します**。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト	
位置	オリーブ山への道沿いのブドウ園
タイムライン	4月上旬 ( 39ヶ月目 )
イエスの生涯の文脈	第8段階：受難週
	D. 木曜日：指導と逮捕の日
	イエスは大祭司としての祈りを捧げる
タイトル	イエスは三位一体と互いの一致を祈る

今日の朗読は、創造の歴史において三位一体の神の思いと心の最も深い啓示へと私たちを導きます。イエスの大祭司の祈りにおける最後の三つの願いは、一見するとシンプルですが、計り知れないほど深い意味を持っています。これらは、この地上で捧げられた祈りの中で最も重大で重要な願いです。福音書に記されている他のどんな祈りよりも、イエスの心と信仰を深く明らかにしています。イエスが祈りの中で父なる神にこれらの願いを語ったのも不思議ではありません。これらは三位一体の思いと願いであり、まさに天の息吹そのものです。

今日の朗読についていつものようにコメントしますが、私の言葉がその意味のほんの一部に過ぎないことを承知しています。これはこれまで語られた中で最も深遠な言葉であり、永遠の崇拝、驚嘆、そして黙想を必要とします。

イエスはここで三つの願いをされました。第一に、そして最も重要な願いは、イエスを信じるすべての信者が、キリストの体において互いに可能な限り強い一致の絆を経験することです。なぜなら、私たちは三位一体の生命において父、子、聖霊と一つに結ばれているからです。

一体の三位一体は、互いへの愛において永遠に一つです。私たち一人ひとりが三位一体の愛を知り、彼らと親密な交わりの中で生き、彼らが聖霊を通して私たちの内に生きるように、私たちも他のすべてのキリスト教徒と、神の愛なる臨在における一体性と交わりの中で結ばれています。

イエスは、弟子たちが互いの関係において三位一体との一体性を経験し、それを表現するとき、世界には2つのことが起こる、と言われました。(1)弟子たちはイエスが世界の救世主として父なる神から遣わされたことを知り、信じるようになる。(2)弟子たちは、私たちが互いに愛し合うことによって、神からどれほど愛されてきたかを見て、知るようになるのです。

二つ目の願いは、すべての信者が三位一体の神との永遠の交わりの中で、イエスの栄光を目にし、体験することです。これは、イエスが世界を創造する前の世において、父なる神と聖霊と分かち合っていた栄光です。神の完全な永遠の栄光を永遠に見つめることができることは、神が私たちに与えてくださる最大の恵みの賜物です。あらゆる被造物の中で、これに匹敵するものは何もありません。これは、すべての信者にとって、イエスの血によって買い取られた賜物なのです。

3つ目の願いは、三位一体のそれぞれの方が互いに、そして私たちに対して抱いている愛を、私たち一人ひとりが絶えず経験することです。イエスはすでに、ご自身の愛にとどまるようにと私たちに命じておられました。ここでイエスは、この人生と永遠にわたって、私たちがその愛を絶えず経験することを祈られました。三位一体の神は愛そのものであり、私たち一人ひとりが神の愛を経験し、理解する中で、永遠に成長し続けることを望んでおられます。

イエスがこれらの祈りを捧げたおかげで、信者一人ひとりには、(1)父、子、聖霊との完全な一体性、すなわち三者の相互の一体性の表現、(2)永遠に豊かな命である神の栄光の永遠のビジョン、そして(3)三位一体の各位格が互いに愛し合うあらゆる方法における神の愛の永遠の経験が保証されている。

この祈りによって、私たちの永遠の救いが確立されました。この三つの願いを通して、神がこれまでになかった他のすべての約束が確証されました。イエスがこれほどの規模の祈りを捧げ、そしてすべての時代の信者のためにこれらの願いを信じ、受け入れる信仰をお持ちだったことは、驚くべきことです。

これがあなたの大祭司です。彼はこのようにあなたのために祈ります。これが彼の心の願いです。ですから、これが彼におけるあなたの永遠の運命であり、この地上での人生におけるあなたの確信なのです。

応用：

三位一体との一体、その栄光の永遠の幻、そしてその愛の経験は、イエスの祈りによって保証されています。それは既に定められた約束です。イエスは間もなく死なれ、新契約の血によってこれらすべてを封印されました。

私たちには、一つだけ残されたことがあります。聖霊が私たちの内に働かれる愛と平和の絆の中で、互いに一致を保たなければなりません。イエスが地上であらゆる国の人々を弟子とするために続けられている御業はすべて、私たちとイエスの一致の産物であり、その表現である、私たち同士の一一致にかかっています。イエスはこう祈られました。「父よ、あなたが私の内におられ、私があなたの内にいるように、彼らも一つになりますように。彼らも私たちの内に一つになりますように。そうすれば、世はあなたが私をお遣わしになったことを信じるでしょう。」

ああ、私たちはどれほど頻繁に聖霊の一致を保つことができていないのでしょうか。キリストの体において、傷つき壊れた多くの関係が私たちを分裂させ、分断させています。教会の歴史は、キリストにおける調和よりも、むしろ争いに満ちています。私たちは、互いの一致を願うイエスの祈りに応えなければなりません。

団結を維持することは、私たちの個人的な生活のあらゆる関係から始まります。

あなたの人間関係の中に、傷ついたり壊れたりした関係はありませんか？ 彼らのもとへ行き、和解しましょう。イエスが祈り、そして死んで復活し、私たちの中に結ばれた一致を取り戻しましょう。

今日、あなたはキリストの体の統一をどのように回復し、あるいは維持しますか？